

第4章 町民を対象とした意見交換会等の開催

(1) エリア別意見交換会の実施概要(令和4年11月:3エリアで開催、参加者15名)

■実施概要

実施エリア	小池エリア	川津場エリア	千代田エリア
実施日	令和4年11月12日 午後1時30分～	令和4年11月20日 午前9時30分～	令和4年11月20日 午後1時30分～
実施場所	芝山町役場南庁舎1階 研修室	福祉センター「やすらぎの里」2階 講習室	
次第・進行	1 開 会 2 挨拶 3 職員紹介 4 地域公共交通の現状について (資料) エリア概況及び公共交通の現状 5 意見交換(ワークショップ形式により実施) ○テーマ1:日常生活における移動の「困りごと」について ○テーマ2:「困りごと」を解決するための方法 ○テーマ3:その中で地域の皆さんができること ○発表 ○まとめ 6 閉 会		
配付資料	・次第 ・エリア概況及び公共交通の現状 ・芝山町公共交通マップ		

■ワークショップの様子

〔小池エリア〕



〔千代田エリア〕



(2) 小池エリア意見交換会 結果概要(参加者10名)

■日常生活における移動の「困りごと」について

- ・子供の送迎の負担
- ・高齢者の足がない
- ・高齢になり運転が不安、一人暮らしで送迎も出来ない人が多い
- ・芝山鉄道の交通系 IC カード化
- ・休日に移動手段がない
- ・近隣の病院、学習塾、駅に行きにくい
- ・町の東西地域で芝山ふれあいバスを利用出来ない
- ・デマンドは町外の人が利用出来ない、わかりづらい、利用しづらい、町外に行けない
- ・ハニワ台NTと役場を結ぶルートがない
- ・一般タクシーが1時間来ない
- ・芝山あいあいタクシーの予約が取りづらい、町外に出れない、安すぎ、帰りの予約がしづらい

■「困りごと」を解決するための方法

- ・交通結節点を設け、バスを乗り継いででも町外・周辺駅(八街・成田)等に行けるようにする
- ・芝山あいあいタクシーのエリア・対象者の拡大、スマホ予約化、運賃高くしてサービス向上
- ・フリー乗降
- ・循環バスの運行、小型車両の導入
- ・スクールバスの運行
- ・リアルタイムの情報発信
- ・隣接自治体との連携

■地域の皆さんができること

- ・年1回程度、地域と協議する場を設ける
- ・利用しやすい交通システムであれば積極的に利用する
- ・住民自身の意識改革、みなで広報(口コミによる利用促進)
- ・地域コミュニティの中での移動支援(ボランティア輸送等)
- ・受益者負担の見直し(値上げ)
- ・相乗りを促進し、運行効率化

【総括】

- 意見交換会の継続による住民・利用者意識の改善と利用促進
- 子供や高齢者等の移動ニーズに合わせた、地域公共交通のサービス水準の見直し
- ICT技術を活用したわかりやすい情報提供、
- 近隣自治体との連携により乗り継ぎ環境を改善し、一体的な地域公共交通ネットワークを形成
- 行政・受益者負担の見直し

(3) 川津場エリア意見交換会 結果概要 (参加者2名)

■日常生活における移動の「困りごと」について

- ・エリア内には公共交通がない
- ・既得権により、住民のニーズに対応できていない
- ・地域により生活圏が異なり、行き先ニーズが多様
- ・芝山あいあいタクシーは利用しやすい
- ・町内の移動に限定されている
- ・町外や芝山千代田駅までは円滑に移動したい
- ・最寄り品の買い物は町内で済むが、荷物があると車移動になる
- ・道路混雑により、空港シャトルバスの松尾駅接続時間が悪い
- ・他の交通機関との乗り継ぎがスムーズではない
- ・ピーク時の道路交通混雑、道路の維持管理が悪い
- ・鉄道や芝山ふれあいバスでは交通系 IC カードが利用出来ない
- ・ワークショップになれていない住民が多い

■「困りごと」を解決するための方法

- ・移転計画事業と合わせて公共交通を検討
- ・町外への医療施設の対応、芝山あいあいタクシーの利便性向上
- ・芝山鉄道延伸
- ・地域でのボランティア輸送、有償運送の取組
- ・交通事業者と調整しながら、まちづくりと合わせた公共交通利用促進
- ・横芝光町が運行する「横芝光号成田便」の活用

■地域の皆さんができること

- ・ボランティア輸送の取組
- ・まちづくり協議会や部落総会を活用した意見交換会の継続実施

【総括】

- まちづくりと連携しながら、地域内での継続的な意見交換
- 芝山あいあいタクシーのサービス拡大
- 地域主体の自家用有償運送事業の取組可能性の検討
- 公共交通間の乗り継ぎ利便性の向上
- 周辺自治体との連携

(4) 千代田エリア意見交換会 結果概要 (参加者3名)

■日常生活における移動の「困りごと」について

- ・高齢者が免許返納しても利用できる公共交通がない
- ・成田空港駅があるため、広域移動は便利だが町内移動が不便
- ・移動販売や買い物商品の配達もあるが、高齢者も動いた方が良い
- ・家族の送迎は気を遣う
- ・芝山あいあいタクシーの利便性が悪い
- ・芝山千代田駅からの移動手段の接続が悪い
- ・地球温暖化を意識して、生活しないといけない
- ・はにわ道の道路混雑
- ・行政負担額を適正利用しているか

■「困りごと」を解決するための方法

- ・公共交通の電動化
- ・多古町シャトルバスの活用
- ・タクシーGO等の予約配車システムの導入
- ・人口減少に対応した行政負担額の適正化
- ・バス運行経費をデマンドタクシーに活用
- ・地域の有償運送、ボランティア輸送の取組
- ・鉄道駅への接続利便性向上（芝山千代田駅より成田・成田空港駅）
- ・業界の規制緩和、調整による利便性向上
- ・長期的な視点に立った検討（自動運転バス）
- ・既存送迎バス等の有効活用

■地域の皆さんができること

- ・車椅子対応のタクシー等利便性が向上すれば高額でも利用する
- ・道路環境の維持管理の協力
- ・コミュニティ活動の活性化と予算の有効活用

【総括】

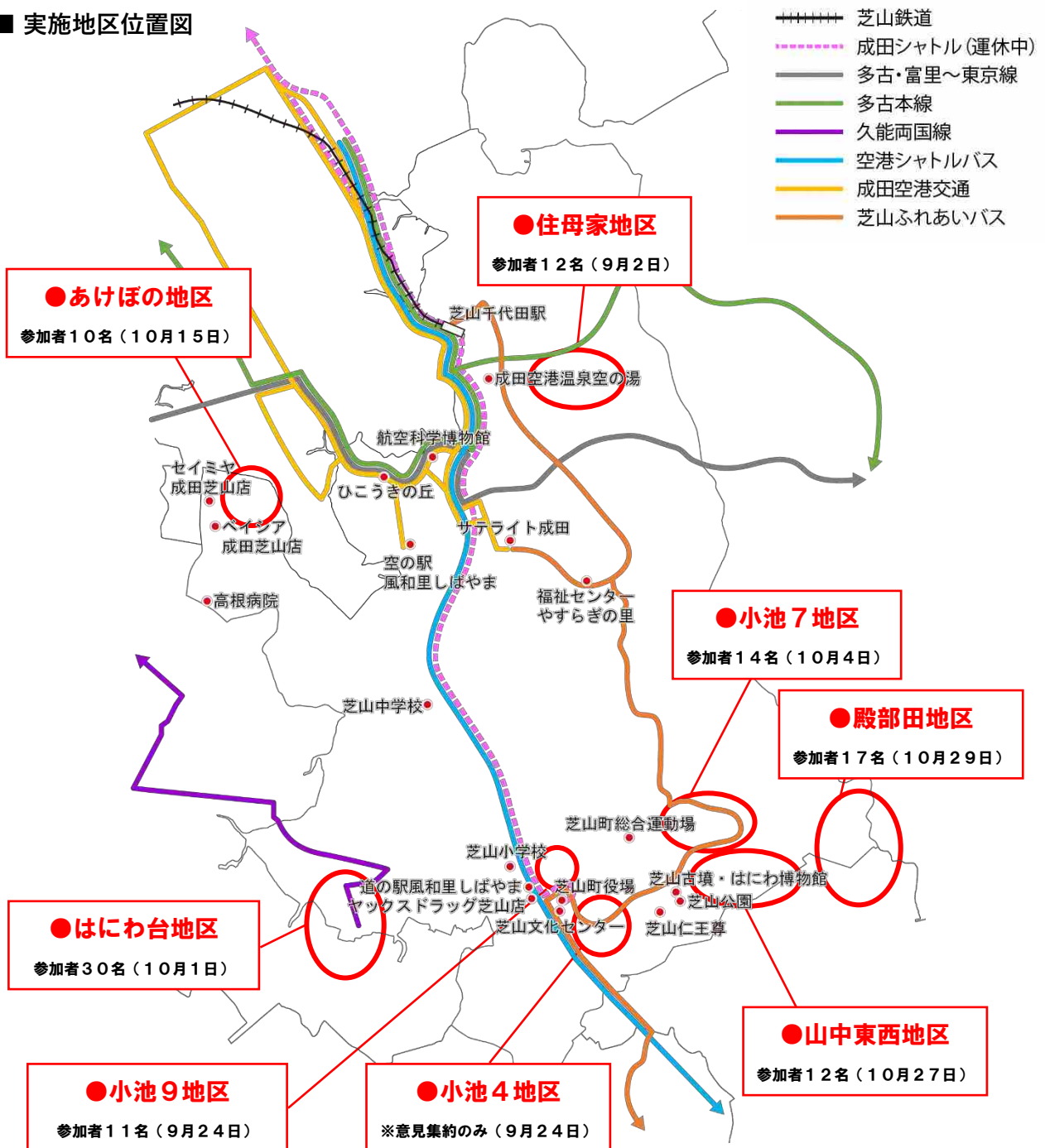
- コミュニティ活動を活かした地域住民の意見交換の継続と対応策の検討
- 交通事業者や周辺自治体との協議・調整による既存公共交通ネットワークの連携
- 持続可能性、環境意識等を考慮したモビリティ・マネジメントの取組展開

(5) 地区別意見交換会 結果概要(令和5年9~10月:7地区で開催、参加者106名)

地区(実施日)	参加者数	主な意見
住母家地区 (9月2日)	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤及び通学については「家族の送迎」が前提となっている。 ・ほとんどの人が「成田空港」や「東成田駅」まで送迎している。 ・「多古町の空港シャトルバス」を利用できるようにしてほしい。 ・デマンド交通について、「成田空港」や「東成田駅」まで行けるようにしてほしい。
小池4地区 (9月24日)	意見集約のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通で「国際医療福祉大学成田病院」に行けるようにしてほしい。
小池9地区 (9月24日)	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤や通学に対する利便性をもっと向上させるべきである。 ・デマンド交通について、利用運賃を上げてでも「成田市」や「富里市」へも行けるようにしてほしい。(病院・大型商業施設等)
はにわ台地区 (10月1日)	30名	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤及び通学については「家族の送迎」が前提となっている。 ・デマンド交通について、「1時間前予約」「時間が掴めない病院の帰り」等に利用しづらさを感じる。 ・中学生が利用できない等、スクールバスがうまく活用できていないと感じる。 ・現行の芝山ふれあいバスのダイヤでは、部活動をやっている高校生が自力通学できない。 ・当地区の主な生活圏は「八街市」や「酒々井町」方面である。 ・将来的に「小池・千代田・川津場の3拠点とはにわ台地区が町の重要拠点」として位置づけられるのであれば、地区が真に求める移動ニーズに合わせた交通資源を創出してほしい。
小池7地区 (10月4日)	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤及び通学については「家族の送迎」が前提となっている。 ・成田方面に通学する高校生は、芝山鉄道の利用料金の高さやICカードが使えない不便さ等から芝山千代田駅を利用せずに「東成田駅」まで送迎している。 ・デマンド交通の運行時間が拡大できれば解決するのではないかな。
あけぼの地区 (10月15日)	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通について、通学や通勤等、若い世代にももっと対応できるようにした方が良いと思う。(「1時間前予約」や「運行時間に課題があると感じる」) ・芝山ふれあいバスや空港シャトルバスを利用したいが、最寄りの停留所に行くまでに15分程度の送迎が必要となっているため、結局は駅や目的地まで直接送迎してもらっている。 ・芝山鉄道について、利用料金の高さやICカードが使えないことへの不便さで、ほとんどの人が「東成田駅」まで送迎している。 ・スクールバスについて、中学生が利用できない地域においてはかなり不満と不平等さを感じている。

地区(実施日)	参加者数	主な意見
山中東西地区 (10月27日)	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・芝山ふれあいバスと芝山鉄道について、ICカードが利用できないのは不便である。 ・デマンド交通について、「緊急な利用」「日曜祝日も利用可能」等に対応すべきである。 ・小池にバスターミナルを整備する計画と聞くが、そもそもそこまでアクセスできる公共交通の資源がなければ意味がないと思う。
殿部田地区 (10月29日)	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・通学に対する利便性をもっと向上すべきである。 ・移転や騒音対策に関する課題、圏央道新設、空港外周道路等、地区としての将来に不安を感じている部分があるので、公共交通についても将来を見据えてしっかりと検討してほしい。

■ 実施地区位置図



(6)これまで公共交通に対して地域から町に寄せられた声の概要(参考)

① 町西側地域(新たな交通網の新設について)

- ・若年層や高齢層を含め、居住人口が多いはにわ台やバルールドを中心とした町西側地域において、コミュニティバスが運行されていないことから「学生の通学の足」「車の運転ができない方への足」への対応策を講じてほしい。その中で、具体的に地域間に循環バスを新設し小池主要施設へのアクセス構築を検討してほしいとの声。

② 町東側地域(公共交通のあり方について)

- ・高谷川より東側の地域においては、道幅が狭いこと等からコミュニティバスが運行されていない。それをカバーするためにデマンド交通を運行しているが、利用率が上がらず地域の足が確保できていないという現状があることを把握してほしいとの声。

③ 町内工業団地

- ・第二工業団地に所在する企業から、工業団地に結節する公共交通網(既存公共交通の充実等も含めて)があればもっと積極的に従業員を雇用できるという声。現状では自家用車通勤可能が必要条件となっているため、公共交通による通勤も可能となれば雇用の幅が広がる可能性あり。

④ その他

- ・公共交通に関する障がい者への割引対応、無料化の検討(デマンド交通)
- ・デマンド交通の利便性向上(町民以外の利用可能、町外へのアクセス拡充、町外バス停留所への接続等)

(7) 芝山町地域公共交通計画(案)パブリックコメント 結果概要

① 意見集約期間

令和5年12月7日～令和6年1月12日

② 意見提出件数及び閲覧件数

意見提出件数 3件(役場窓口1件、町ホームページ2件)

閲覧件数 149件(役場窓口3件、町ホームページ146件)

③ 提出された意見の内容

	意見の内容	日付
1	あまり役に立たなかった。	令和5年12月10日
2	・企業バス等との連携を検討するのはどうか。 ・スクールバスをもっと有効活用した方がよい。 ・コミュニティバス及びデマンド交通の運賃を見直すべき。 (運賃の価格を上げて収益を確保すべきと考える)	令和5年12月13日
3	運転手確保等の問題について、芝山町には観光業(車両運行)の会社が数件あるため、そういった事業者へ提案するのはいかがか。また、他業種の町内の会社も新規事業として検討できるのではないかと考える。既存の公共交通を運行している会社に難しいのであれば他に目を向けるのもよいかと。	令和6年1月9日

※いただいたご意見については、主旨を損なわない範囲で要約しております。

④ ご意見を受けての芝山町地域公共交通会議の考え方

上記のとおりいただいたご意見については、芝山町地域公共交通計画(案)策定後の具体的な取り組み内容等の参考とさせていただきます。